

2020年度 長野県岡谷東高等学校シラバス

教科	英語	科目	コミュニケーション 英語Ⅲ	単位数	3	学年	3	コース	教養フロンティア
			必修・選択					必修	
使用教材	教科書	MY WAY English Communication III Active Listening 2							
	副教材	Vision Quest English Expression I / Vision Quest総合英語 Data Base 3000							

学習目標

文章構造を意識し、英文種類（ストーリー、論説、対話等）に合わせたリーディングスキル並びに速読直解力を身に付ける。

学習方法

年度前半では文章構造の理解並びにリーディングスキルの獲得を目指し、150語程度から成る比較的短い文章を題材として学習する。併せて、当該レベルの英文について速読直解の基本的スキルを身に付ける。
年度後半では論説、ストーリー、対話等文章の種類別の速読直解スキルの向上を目指し、300語～600語程度から成る比較的長い文章を題材として学習する。

学習評価

○次の四つの観点に基づき、学習内容のまとめりと下に評価マトリクスにより評価を行い学年末に5段階の評定に総括します。

①関心・意欲・態度	様々なテーマから成る英文について、その題材そのものや背景となる知見に関心を持ち、英文を読み解くスキルを積極的に獲得しようとする意欲や態度を持っている。
②思考・判断・表現	与えられた題材に対して、その背景知識を活用しつつ、内容を具体的に理解する思考を働かせることができる。また、理解した内容を正しく的確に英語または日本語で表現できる。
③技能	既習の語彙、英文法を基礎として、習得した文章構造やリーディングスキルを英文理解に活かすことができる。
④知識・理解	与えられた題材に関する背景知識を活用し、英文で書かれた内容を速読直解的に理解できる。

評価方法\観点	評価の観点				備考
	①	②	③	④	
授業自己評価	◎				毎単元終了後授業に対する取り組みを自己評価する
定期考査	○	◎	◎	○	
発表/レポート/ワークシート	◎	◎	○	○	
リスニングコンプリヘンションチェック	○	○	○	◎	Hyper Listening によるリスニング
課題等	◎	○	○	◎	長期休業の課題や宿題

※表中の◎は観点の中でより重視するポイントです

※それぞれの評価の観点はA、B、Cの三段階で評価します。

学習方法等のアドバイスなど

英文理解の基礎である語彙と英文法は各自Data Base 3000やVision Quest I / Vision Quest 総合英語、或いはClassi等を活用して、自学自習すること。
教科書にある分量程度の英文を速読直解するには文読スピードを150w/m程度を目標に上げる必要があるので授業或いは家庭学習でも必ず「音読」をすること。

年間学習計画

学期 時間数	学習内容	学習のねらい	学習活動 【評価方法】
1 学期 33単位時間	教科書Unit1を使い、スキミング、スキヤニング等のリーディングスキルを獲得し、またパラグラフ構造やディスコースマーカー等の文章構造理解を進める。 各単元にかかる時間は概ね1～2授業時間を目途に進める。	約150語程度の比較的短い文章に対し、文読スピードを上げ、直解スキルを向上させる。	【評価方法】
2 学期 45単位時間	教科書Unit2並びにUnit3の題材を使い、習得したリーディングスキルや理解した文章構造を活用して、速読直解力の向上を図る。ここでは、特に文章の種類（ストーリー、論説、対話等）別のリーディングスキルの獲得を図る。 各単元にかかる時間は概ね2～3授業時間とする。	約300～600語の比較的長い文章に対し、文の種類に合わせたリーディングスキルや習得した基本的スキル（スキミング、スキヤニング）を用いて、必要に応じて文章構造理解も役立てながら速読直解できるようにする。	毎週行う授業自己評価 単元の開始時並びに終了時に行うリーディングコンプリヘンションチェック 単元の終了時に行うテキスト問題又は小テスト 定期考査 【学習方法】 テキストにおける単語・熟語は単元開始前に予習しておくこと。 授業内で解説する文法事項について理解の不足している点は家庭学習で補強すること。 音読・速読直解等のスキルは授業において積極的に発話することで獲得する努力をすること。
3 学期 27単位時間			